

「ダイコンでSDGs ～1コマでの調理実習に挑戦」

1. 対象学年 中学2年生

2. 本調理実習での工夫

① 4名班（男女比1：1） *教員用調理台も使用し全部で9台

② 1コマ授業

3. 題材について

これまで、家庭分野の食生活領域における調理実習では、コロナ禍のために家庭での調理実習に置き換えてきた。そのため、校内で調理をすることは今回の授業が初めてである。家庭では家族の協力もあったと思うが、一人調理の場面が多かったように感じた。作ったものを家族と一緒に食べられる点は大変よかった。校内では、班での実習を再開したいと考え、本題材の提案とした。食生活領域に対しては、とても興味をもっている生徒が多く、調理実習ができないことについて、早い再開を望む声は多かった。

本実践において、二つの軸として構想している。一つは、これまでやってきたSDGsを軸にし環境への配慮を意識した調理実習、二つ目は、これまで、コロナ禍のためにやれなかった実習を4名という少人数のグループで班員が協力して楽しく、行うことである。技術分野で同時期に学習している生物育成による大根栽培と連携することで学びのつながりを意識させることもねらいとしている。自分で育てた大根での調理をして友達と試食することまでできるとよいと考えている。

コロナ禍で、調理室での試食ができないため、弁当箱に詰めて教室まで持っていき、昼食時間に試食する形としているので、1コマ50分間の中で調理と片付けを終えられるよう、タイムマネジメントも各班での話し合いに織り交ぜた。事前の授業で、準備や予行を行う中、加熱時間の検討や、弁当箱に詰めるまでの冷ます時間、同時並行にできることなど、何度も班員で検討を重ねた。

今回の授業では、班ごとに総合的にすぐれていた班を表彰するというコンクール形式をとることとし、それに向けて、班での目標を設定、それに向けて取り組ませた。

話し合いの時間には、自分の考えや意見を堂々と伝えられ、自分の判断で行動することができるようになることを目指した。班は、出席番号順で男子2名、女子2名の4人班とした。安全面等の確認のため、事前に調理経験の実態把握を行い、生徒のできる範囲での取り組みであるか判断した。

4. 題材計画（全8時間）

（ア）題材計画

時	学習内容	○学習活動・予想されるこどもの反応	◇留意点 ◆評価
1	調理室の使い方① ＜調理器具の使い方＞ ＜後片付けの方法＞	○油汚れの皿を洗う。班ごとで洗いを検討し、工夫する。 ○汚れを落としたつもりだったが、試薬で確認すると、まだ汚れが残っていることに気づく。	◇男女各2名、4人班。出席番号順とする。 ◆ワークシート ◆iPadの動画
2	調理室の使い方② ＜食材の扱い、切り方＞	○包丁の持ち方を確認し、基本的な野菜の切り方の練習を2人一組で練習する。切っている手元の動画を撮影し合い、提出する。	◇包丁の取り扱いについて机間巡視 ◇調理経験の実態を把握しておく。 ◆ワークシート ◆iPadの動画
3	野菜の調理について ＜加熱方法＞ ＜葉菜類と根菜類＞ ＜栄養価＞	○大根を例に、野菜の調理方法について学習する。 ○和風にしたり洋風にしたり中華風にするには、どのようにしたらよいだろうか。切干し大根はどのようにつくるのだろうか。葉の部分はどのように食することができるのだろうか。	◇班で話し合っているか、机間巡視で確認する。 ◆ワークシート
4 5	大根を使った献立作成	○①調理時間25分以内、②大根を葉をふくめて丸ごと使う、③お弁当に入れる、3つの条件に合った献立を班で考える。 ○調理室の設備や調理器具（計量の方法を含む）を実際に試しながら計画を立てる。 ○必要な調味料の量、大根以外に必要なものの確認をする。	◇班で話し合いがうまくいっているか、声掛けをする。 ◇汁物など教室に運べないもの、揚げ物、時間内に終わらないと判断したものは認めない。 ◆ワークシート
6	大根パーティの予行演習	○漬物、焼き物、電子レンジを使った蒸し物、乾物を25分以内で作り、実際にどのくらいがかかるか、試してみる。 ○今回うまくいかなかった点は、次時に生かせるよう、昼休みを使って、	◇タイムマネジメントができていないか、確認する。 ◇協力できているか、声掛けをする。 ◆ワークシート

		班で話し合いを行う。	
7	大根パーティ（本時）	<p>○班の目標の共有と、前時の反省を生かせるように5分間の作戦タイムを使う。</p> <p>○25分間の調理は、手元が映るような角度で動画撮影、提出をする。</p> <p>○完成したものは、少し冷ましてから持参した弁当箱に詰める。</p>	<p>◇タイムマネジメントができているか、確認する。</p> <p>◇協力できているか、声掛けをする。</p> <p>◆ワークシート</p> <p>◆iPadの動画</p>
8	振り返りの発表と投票	<p>○自分たちで撮影した動画をもとに、班で3～4分間で発表をする。</p> <p>○9班のうち、よかったと思われる班に投票をする。</p> <p>○投票の基準は、①班での協力②SDGsへの取り組み③美味しさが伝わってきたかの3点</p>	<p>◇動画を改めて見直すことで、当日は気づけていなかった、声掛けや協力の様子などを客観視できて捉えられているか。</p> <p>◆ワークシート</p>

(イ) これまでの題材の経緯

1年時において、大量生産、大量消費、そして、フードロスについて学習してきた。SDGsということばを知ってはいるが、自分のこととして捉えられていなかったことと、実際にどう生活と結びついているのかについては、気づけていなかった。

本単元では、技術・家庭科（技術分野）での生物育成の領域での大根栽培と連携し、作物の収穫のありがたさとともに、それを丸ごと食するにはどうしたらよいか考えることを通じて、SDGsへの取り組みに関連づけた。またコロナ禍でできていなかった調理実習をどのように開始していくかということを考える上で、小学校での経験も少ない状況のもと、生徒たちの実態に見合った実習を構想し、このような単元計画となった。

(ウ) 本時の計画（7時間目／全8時間）

a. 本時のめあて

1. 大根を丸ごと使い、あますところなく、調理しよう。
2. 声をかけあって、協力して実習に臨もう。

b. 本時の展開

主な学習内容と活動	指導上の工夫・配慮
<p><導入> 5分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本日の目標の共有 2. 安全面の諸注意 <p><展開></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作戦タイム（5分） 2. 調理タイム（25分） 3. 片付けタイム（10分） 	<p>○本時の目標を再度確認し、班員とともに協力して行うことを徹底する。</p> <p>○包丁の安全面、火元の注意を再度確認する。</p> <p>○前時にうまくいかなかった点について、想起させて、本時では改善できるよう、作戦タイムに確認させる。</p> <p>○調理中は、手元を中心に動画を撮影させる。</p>

<p><まとめ> ふりかえり（5分）</p>	<p>○班員の4名が協力できているか、できていなかったらそれを気づかせる声掛けをする。</p> <p>○環境の配慮を思い出し、生ごみはほぼ出さないことと、水の使い方、洗剤の使い方、ガス、電気など使いすぎないことに気づかせる。</p> <p>○調味料の計り方にも留意し、必要な分だけ使うことを巡回しながら、確認する。</p> <p>○課外の取り組みとして、撮影した動画を見ておくことと気づいたことと振り返りを個人でしておくことを指示する。</p> <p>○動画提出については、長いと情報量が多く重く受信に時間がかかってしまうため、長い場合には、コマ切れにして提出することを周知する。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none">・ワークシート（班・個人）・各班で iPad で撮影した動画
----------------------------------	--